



## どこに「信用と信頼」はあるのか？ 施設内の落書き発生にて面談及び筆跡提出！？



まさに容疑者扱い  
管理者が筆跡鑑定？  
トイレに行ってもないのに  
疑われているの？

9月、東京駅社員用男性トイレにて落書きが発見、8月にも同箇所及び上野駅乗務員男性用トイレにおいても落書きが発見されていたため両日同箇所を使用した疑いのある東京車掌区では発生日及びその前日、当該のトイレを利用した可能性ある乗務員約40名に対し管理者は呼び出しを行い、聞き取り調査と筆跡の提出の面談が行われた。この面談に対し組合員は、

- ・トイレを利用したか？どこの個室を利用したか？とか聞かれ最後に「ヤメロ」と筆跡をとられたが何に使われるかわからないし、今後筆跡が似ているから疑われたら怖いと感じた。
- ・知り合いの未加入者は持っているペンの提出を求められ、最終的には筆跡までとられている。管理者にそこまで権限はない。人権侵害ではないか？
- ・いつから落書きがされていたのかわからないのになぜ発見された当日と前日の出番者のみの聞き取り？社員全員にすべきではないか？
- ・管理者は筆跡のプロではない。この面談は乗務員の不安だけをあおっている。しっかりとした説明をすべきだ！

鉄道会社の最大の使命は「利用者を目的地まで安全に送り届けること」である。そのためにはすべての仲間が協力し合って列車の運行に携わることが重要である。今回の筆跡提出は現場で奮闘する社員を容疑者扱いとする行為と同等であり、これまで築き上げた現場内での「信頼と信用」を破壊する行為である。東京支部はこの問題を看過することなく「なぜ筆跡の提出を求めたか」「今後、このような容疑者扱いされる面談を行わないこと」を分会・地本と協力し強く求めていく！

## 犯人捜しは「ヤメロ」

### 安心して働ける職場をみんなの力でつくり出そう！